メッセージアウトライン

日付	2017年6月25日
単元	モーセ・2
テーマ	必要を満たしてくださる神さま
タイトル	マナ　ー天から降るパンー
テキスト	出エジプト16章
参照箇所	出エジプト17:1-7
暗唱聖句	詩篇107:9

導入	今日は約束の地カナンへの旅がはじまって、1ヶ月経ったころのお話です。人々は感謝と喜びでいっぱいの、楽しい旅をしていたでしょうか？
Ⅰ	**神さまは、イスラエルの民のつぶやきをきいてくださいました(1－12)** A. イスラエルの民は、食べ物のことでモーセにつぶやきました B. 神さまは、「あなたがたのためにパンが天から降るようにする」とモーセに言われました C. モーセは、民に「主がつぶやきをきいてくださいました」と言いました
Ⅱ	**神さまは、天からマナを降らせてくださいました（13－18）** A. 夕方になると飛んでくるうずらを捕まえて食べることができました B. 朝になると荒野にマナが降っていました C. 人々は、自分の家族が食べる分だけ、マナを集めました
Ⅲ	**イスラエルの民はいつもマナを食べることができました（19－36）** A. 神さまは、日ごとに必要なマナを与えてくださいました B. 神さまは、民が安息日を守れるように、6日目には2倍のマナをくださいました C. 神さまは、40年間マナを与えてくださいました
結論	**神さまは荒野を旅する民にマナを与えてくださいました**
適用	神さまがしてくださったこと、与えてくださっているものにいつも感謝しよう。不平不満を言う前に、神さまにお祈りしよう。 みなさんは、おもちゃを買ってもらったときだけ喜んでお父さんの言うことをきくのに、しばらくたつと感謝を忘れてわがままになってしまうことはありませんか？神さまに、いつも感謝の心を忘れないようにしましょう。神さまの恵みをいつも思い出して感謝しよう。必要なものはいつも与えてくださる神さまを信頼しよう。普段当たり前のように与えられている、水や空気、あなたの目や手について考えてみてください。すべて神さまのミラクルです。それがなくなったらどんなに困るか考えて、感謝しましょう。周りの人に文句を言うより、何でもお祈りしよう。神さまがあなたに一番良いことをしてくださいます。マナは食べるパンでしたが、みことばは、命のパンです。神さまは、モノだけでなく、魂の飢え渇きを満たしてください。祈って求めましょう！
備考	

メッセージアウトライン

日付	2017年7月2日
単元	モーセ・2
テーマ	大切なことを教えてくださる神さま
タイトル	十戒
テキスト	出エジプト記19:1-20:17
参照箇所	
暗唱聖句	レビ22:31　or　ヨハネ14:15

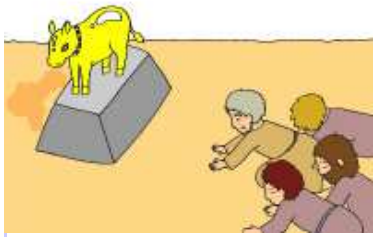
導入	イスラエルの民は、シナイ山のふもとの荒野にいました
Ⅰ	**神さまは、十戒を告げる前に、準備をされました（19:1－15）** A. 神さまは、「私の命令に聞き従うなら、あなたがたは全世界の中でわたしの宝となる」といわれました B. イスラエルの民は、「神さまの言うことを全部行ないます」と言いました C. 神さまは、「3日目（十戒を告げる日）のために用意をしなさい」と言われました
Ⅱ	**神さまは10の戒めを語られました（19:16－20:17）** A. 神さまはモーセを通してイスラエルの民に語られました B. 十戒のはじめの4つは、神さまと私たちの関係についての教えでした C. 十戒の残りの6つは、人と人との関係についての教えでした
Ⅲ A. B. C.	
結論	**神さまはイスラエルの民に大切な10の戒めを与えられました**
適用	喜んで、十戒を守りましょう！神さまを愛するなら、神さまの言うことを守りましょう！神さまは私たちを愛しているからこそ、十戒を与えてくださいました。私たちを幸せにするための、みんなが守るべき基準を与えてくださったのです。みんなを苦しめるためではありません（交通ルールも同様です）。みんなの家族やお友だちが、十戒をやぶって、殺したり、盗んだりしていたらどうなりますか？逆に、みんなが十戒を守っていたら、仲良く助け合って、幸せに暮らせますね。愛する神さまのいうことを、喜んで守りましょう。律法を守ることは、神さまを愛し、となり人を愛することです。十戒を守るためには、自分のチカラでガンバるのではなく、聖霊さまに助けてもらうことが大切です。喜んで十戒を守れるように、聖霊さまの助けを求めて祈りましょう。
備考	

（イラスト無し）

メッセージアウトライン

日付	2017年7月9日
単元	モーセ・2
テーマ	ただひとりの神さま
タイトル	金の子牛
テキスト	出エジプト24:12-18、32:1-35
参照箇所	出エジプト20:22-23、33:1-6
暗唱聖句	申命記6:4

導入	みなさんは、約束を守りますか？破ってしまったことはありますか？イスラエルの民は、十戒を約束どおり守っているでしょうか？
Ⅰ	**イスラエルの民は偶像をつくって礼拝してしまいました(24:12-18,32:1-6)** A. イスラエルの民は、アロンに「神を造って下さい」といいました B. アロンは金の子牛を造りました C. アロンとイスラエルの民は、金の子牛を礼拝しました
Ⅱ	**神さまもモーセも怒りました** A. 神さまは怒りに燃え、民を滅ぼすと言われました B. モーセは、わざわいを思い直してくださるよう神さまにお願いしました C. モーセは、イスラエルの民が子牛を礼拝しているのをみて怒りました
Ⅲ	**神さまは罪を犯した人たちに、罰を与えられました(32:25－35)** A. たくさんの人が罰をうけました B. モーセは、民の罪を赦してくださいと神さまにお願いしました C. 神さまは皆を滅ぼすことはされず、約束の地への旅も取り消されませんでした
結論	**ただ主だけを礼拝しましょう**
適用	神さまだけを礼拝しましょう。神さまは、私たちを造ってくださった創り主で、なんでもできる神さまです。人に動かしてもらわないと何もできない作り物の像ではありません。聖書の神さま以外の神々を礼拝したり、宗教に加わってはいけません。神さまとの関係だけを、大切にして祝福を受け続けましょう。また、お金や恋愛や遊びを、神さまより大切にしてしまうと、それは偶像になります。いっぱい遊ぶこと、どんどんお金をためることは決して悪いことではありませんが、それが神さまとの関係より上位に来てしまってはいけません。いつも、神さまを第1にしましょう！また、神さまと約束したことは守りましょう。イスラエルの民は、十戒を守る約束をしてすぐに破ってしまいました。みなさんも、神さまの前に決心したことは、真実に守り続けましょう。絶対にスゴい祝福をくださるよ。
備考	



メッセージアウトライン

日付	2017年7月16日
単元	モーセ・2
テーマ	神さまを信じとおす信仰
タイトル	12人の斥候
テキスト	民数記13:1-14:34
参照箇所	申命記1:19-2:1
暗唱聖句	イザヤ41:10

導入	シナイを出たイスラエルの民は、荒野の旅を続けていました。そしていよいよ、約束の地カナンまでもうあと少しというところまでやって来ました。
I	**12人の斥候が、カナンの地について調べ、報告しました（13章）** A. 12人の斥候が、カナンの地を調べに行きました B. 斥候は、カナンは良い地ですが、強い人たちが住んでいると報告しました C. ほとんどの人が、カナンには行けないと考えました
II	**イスラエルの民は神さまの約束を信じることができませんでした** A. イスラエルの民は泣き、文句を言いました B. ヨシュアとカレブだけが、神さまを信じつづけました C. 神さまは、イスラエルの民を滅ぼそうとされました
III	**神さまは、民が荒野を40年の間さまようようにされました** A. 神さまは、モーセのとりなしによって民を赦してくださいました B. 神さまは、カレブとヨシュア以外はカナンに着く前に死ぬようにされました C. 神さまは、民は荒野を40年の間さまようようにされました
結論	**神さまが私たちとともにおられるので、恐れることはありません**
適用	どんな状況にあっても、神さまを信じましょう。みなさんは、ヨシュアやカレブのように、たとえ悪い状況であっても、神さまを信じることができますか？それとも他の斥候やイスラエル人のように、状況が悪いと、恐れたり・文句を言ったり、あきらめたりしてしまいますか？スポーツでも勉強でも遊びでも、初めてチャレンジするときや、強い相手と戦うときは、不安になりますね。お友だちを教会にさそうとき・病気のとき・ピンチのとき・緊張するとき・運動会・テスト・発表会など、「どう考えても無理だ」と思うときこそ、信仰を持ちましょう。みこころならば、神さまが助けてくださいます。目に見える状況にまどわされず、神さまを信じよう。自分の力でがんばろうとするより、神さまの力に頼る方が、神さまに喜ばれます。自分たちの考えではどうしようもないときこそ、神さまに頼りましょう。
備考	

メッセージアウトライン

日付	2017年7月23日
単元	モーセ・2
テーマ	主を信じる者は救われる
タイトル	青銅のヘビ
テキスト	民数記21:4-9
参照箇所	ヨハネ3:14-15、II列王記18:4、Iコリント10:9
暗唱聖句	イザヤ45:22

導入	イスラエルの人々は、神さまを信頼しなかったので、40年間も荒野をさまようことになりましたね。とっても長い年月ですね。「あの時、勇気を出してカナンに入っていれば、こんなに苦しい旅を続けなくてよかったのに・・・」「これからは、神さまを信じていこう・・・」 と言いながら歩いたかもしれません
I	**イスラエルの人々は、神さまとモーセに逆らいました**
A.	民は食べ物のことでつぶやきました
B.	神さまは燃えるヘビを送られました
C.	ヘビにかまれた人がたくさん死にました
II	**イスラエルの人々は罪を認め、助けを求めました**
A.	民は罪を犯したことを認めました
B.	民は神さまとモーセに助けを求めました
C.	モーセは民のために祈りました
III	**青銅のヘビを見上げた人は救われました**
A.	神さまはヘビを造って旗ざおの上につけよと言われました
B.	モーセは青銅のヘビを造り、旗ざおの上につけました
C.	青銅のヘビを見上げた人は死にませんでした
結論	**青銅のヘビを見上げた人は、罪の罰の死から救われました**
適用	イエスさまを見上げて救われよう！神さまは、私たちを愛してくださっています。私たちは、罪を犯してしまいます。その報いは死です。でも、神さまは、だれの命も滅びてほしくないと、そのために、イエスさまを身代わりとして、十字架にかけてくださいました。私たちは、イエスさまを信仰をもって見上げるだけで、罪から救われるのです。心も癒されます。いつも与えられている「マナ＝みことば」に感謝しよう。イスラエルの民にマナが与えられていたように、みなさんには、「命のパン」であるみことばがいつも与えられています。いつも感謝して食べていますか？「もう飽きた」とか「つまらない」と文句や不満を言っていませんか？みことばが与えられていることに感謝しよう。礼拝のメッセージやディボーションで、喜んで命のパンを食べよう。
備考	